

2021年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 反省事項

反省点

- ・YouTube 機材の発送ルートが曖昧で、所在の共通認識ができていなかった。
→どの機材をどの会場で使用するか、配信スケジュールに変更があるたびに確認する。
- ・Twitter 速報、Instagram ストーリー速報が速報として機能していない時があった。
→各 SNS のニーズに合わせ、速報方法や対策を練り直す。
- ・速報用の各部アカウントに制限がかかり、メインアカウントで速報を行った部があった。
→一度に複数のアカウントを開設すると利用制限がかかるので、余裕を持って開設を行う。
- ・バスケプラスのつけ方がわかる人がメンバー内にいないチームだったので、急遽学連員がすることが多々あった。
→チームでメンバー内に1人、学連員は全員できるように講習会を行う。
- ・バスケプラスの発送期日、手順にミスがあった。
→大会延期の度に、返却期日について連絡を入れる。最終確認を1人ではなく数人で行う。
- ・戦評を理事の方に添削してもらうのが遅く、添削前は拙い文章が多い。
→理事の方に会場で確認していただける程度の文章力をつける。全体として練習が必要。
- ・プレスが来ているときにパンフレットの準備が不十分であった。
→いつ来場されても良いように、常に準備するようにする。

良かった点

- ・ライブ配信が好評だった。
→今大会から得点タイマー、告知フレームなどを表示した。来年度も続けていきたい。
- ・web パンフレット販売数が増加した。
→YouTube 配信の際、パンフレット告知のフレームを表示し、概要欄に購入ページ URL を記載した。来年度も続けていきたい。

今後の活動

- ・立て看板や配信画面に表示する広告を YouTube で商品化していく。
→視聴者層のニーズに合わせた広告を掲載する。
- ・状況に合わせ、配信の形式を工夫していく。(観客の有無、有料日など)
- ・マスコミ対応強化として、プレスにパンフレットを送付する。開幕告知メールを送る。



令和3年11月22日
理事会資料
広報渉外部

YouTube配信について

1. 各部配信回数、方法

- 1部：全日程ライブ配信（各チーム7回）
- 2部：各チーム3回オンデマンド配信
- 3部：各チーム2回オンデマンド配信
- 4部：各チーム1回オンデマンド配信
- 5部：各チーム1回以上オンデマンド配信

2. 視聴回数、視聴者データなど 基礎データ…資料1～資料8

- ・年間を通して、視聴回数/総再生数/チャンネル登録者数は増加(資料1)
- 1部リーグ開始直前(SNS企画、ライブ配信)からは特に増加傾向が見られる(資料2)
- ・全関西とリーグ戦を比較すると、全関西の方が全ての数字が高い(資料1、資料3、資料6)
→広告の商品化を目指し、視聴数を上げていくために原因分析が課題